

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (90%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (90%RH MAX)	
	電 力	— W	特性インピーダンス	50 Ω (0 ～ 3 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		—	—
電 気 的 性 能	接 触 抵 抗	10 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 10 mΩ以下	○	○
			外部コネクタ 10 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 100Vで測定する。	500 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC 200Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0.045 ～ 3 GHzにて測定する。	VSWR 1.2 以下	○	—
機 械 的 性 能	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
	単体挿抜力 (中心コネクタ)	φ0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。[HRM側]	差込力 N以下	—	—
			引抜力 1.5 ～ 4.9 N	○	○
		φ0.475 ⁰ _{-0.004} の鋼製ピンで測定する。[E.FL側]	差込力 N以下	—	—
			引抜力 0.2 ～ 2 N	○	○
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。[E.FL側]	差込力 N以下	—	—
			引抜力 20 N以下	○	○
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 中心コネクタ 15 mΩ以下 外部コネクタ 15 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐 振 性	周波数 ～ Hz、片振幅 mm、 加速度 m/s ² で 軸方向各 サイクル 試験する。	① μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	—	—
	耐 衝 撃 性	加速度 m/s ² 、持続時間 ms、 正弦半波 軸方向各 回試験する。		—	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損がないこと。		—	—
環 境 的 性 能	温湿度サイクルの 耐湿性	温度 +26 ～ +65℃、湿度 80 ～ 96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高湿時) ② 絶縁抵抗: 500 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -40 → 5～35 → +85 → 5～35℃ 時間 30 → — → 30 → — 分 を 5 サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考 RoHS適合品			承認	IJ.MITANI	06.06.05
			検 図	KY.SHIMIZU	06.06.05
			担 当	TO.KATAYAMA	06.06.05
			製 図	YK.SUGIYAMA	06.06.05
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-130515-40	
HRS	製品規格表		製品名	HRMJ-E.FLP (40)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL311-0278-5-40	△ 1/1